

平成 29 年度全国保健師長会北海道ブロック研修会報告

日時 平成 29 年 9 月 23 日（土）13 時 30 分～16 時 30 分
場所 TKP カンファレンスセンター
出席者 89 名

研修概要

- (1) 全国保健師長会平成 29 年度活動報告について 全国保健師長会 副会長 嘉代 佐知子
平成 29 年度全国保健師長会活動方針、平成 28 年度活動計画について報告いただいた。
- (2) 平成 28 年度地域保健総合推進事業費研究事業結果報告全国保健師長会 關 靖子調査研究委員
平成 27 年度地域保健総合推進事業「地域包括ケアシステム構築における保健所・市町村保健師の保健活動に関する研究」で実施したインタビュー調査結果とその結果から示唆された保健師に役割について報告いただいた。
- (3) 講演「地域に責任を持った活動の強化に向けた人材育成を考える」
～母子保健から見えてきた保健師業務の課題～
講師 とよたま心の診療所 鷺山 拓男 所長
精神科医の立場として保健師と児童虐待予防に関わってきた経験から「虐待予防」が母子保健の本来業務であり、生活史、現症、予後という時間軸の中で事例を見立て 10 年後、20 年後にそうならないために今何をすべきかを予防医学的に考えることが重要であるとの保健師への熱いメッセージをいただいた。
- (4) 実践報告「横浜市の人材育成の取り組み」の作成
横浜市健康福祉局地域福祉保健部福祉保健課 人材育成担当課長 嘉代 佐知子
横浜市での人材育成ビジョン、保健師キャリアラダーにもとづく取り組みについて報告をいただいた。他職種にも保健師育成について理解を求めることが大切であり、キャリア自己分析表、キャリア形成の方向性を考えるものとして活用している。
- (5) グループ別意見交換・発表
～講演、実践報告から、自身や各所属での『地域に責任を持った活動をするための人材育成』のために活用できそうなことを具体的に考える～
経験年数に応じてグループ編成し、グループごと意見交換を行った。経験年数の浅い若い保健師のグループでは他自治体での取り組みから自身の活動の振り返りを行うことができ、役職者の多いグループでは人材育成の課題などについて共有していた。

感想等

参加者のアンケート結果では 96%が大変参考になった・参考になったと回答しており満足度の高い研修であったと考える。また、参加者からは「保健師の使命を再認識できた。様々な視点での保健師の役割を考えることとなった」、「保健師の専門性について改めて考える機会となった。公衆衛生職員としてプライドを持ち、モチベーションを高く業務に従事したい」、「保健師の専門性や母子保健の重要性について改めて重要さを感じた。援助関係をしっかり結んで行ける保健師を育成しなければいけないことも実感した。力強いエールをいただき、みんなに聞いてもらいたかった」等の感想が聞かれており、保健師活動の意義、人材育成の重要性を認識できる研修会であったと考える。